土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

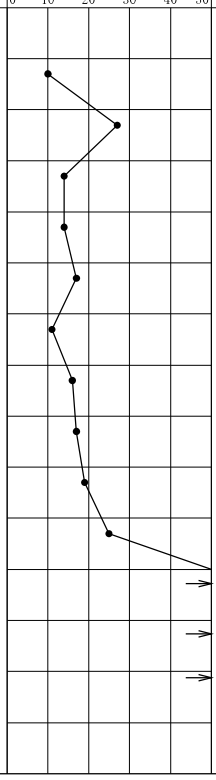
調　　査　　名　　地方港湾 蒲刈港 港湾海岸保全施設整備事業に伴う業務委託(その2)

事業名または工事名

調査目的及び調査対象　　海岸・海洋　護岸

ボーリング名	No.1	調査位置	広島県呉市蒲刈町大浦	北　緯	34° 10′ 55.327″
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所	調査期間	令和03年11月15日～令和03年11月23日	東　経	132° 45′ 14.625″
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	T.P. 4.09 m	角度	180° 上 90° 下 0 0°	方位	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°
地盤勾配	水平 0° 鉛直 90° 0°	使用機種		試錐機	東邦 D1-G
総削孔長	13.00 m	エンジン	ヤンマー NFD-12	ポンプ	東邦 BG-3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定年月日
	3.79	0.30		礫混り砂	S-G	黄灰	rd2		φ10～50mm大の亜角礫混り。全般にシルトを帯びる不均質な中～粗砂。	
1	2.59	1.50		粘土混り砂礫	GS-C	暗灰	rd2		30～40%内外のシルトを混入。φmax30mm程度の砂礫主体。	
2	1.09	3.00		玉石混り砂礫	GS-B	淡灰	rd3		φ50～100mm大の硬質花崗岩玉石混りの砂礫。30%内外の粘土を混入。	
3 4 5	-1.71	5.80		礫混り粘土	CH-G	暗灰	rc4		φ10～30mm大の亜角礫混り。含水低位で固い洪積粘土。所々粗砂を薄層状に挟む。	
6 7 8 9	-5.51	9.60		花崗閃緑岩・粘性土	Gd_C	緑灰	rc4		30～40%内外の中～細砂混りの硬質粘土。粘土化の進行した強風化花崗閃緑岩	
10	-6.91	11.00		花崗閃緑岩・砂質土	Gd_SF	黄褐	rd3		岩組織残留するが、やや不鮮明。粘土混り粗砂状を呈す。	
11 12 13	-8.91	13.00		花崗閃緑岩・軟岩	Gd_WR	黄褐	rd5		岩組織残留するが、やや不鮮明。指圧で破砕し礫混り砂状を呈す。	
14										



標準貫入試験 N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
10	1.15	2	3	5	10		
	1.45				300		
27	2.15	8	9	10	27		
	2.45				300		
14	3.15	3	5	6	14		
	3.45				300		
14	4.15	4	5	5	14		
	4.45				300		
17	5.15	3	5	9	17		
	5.45				300		
11	6.15	3	4	4	11		
	6.45				300		
16	7.15	3	6	7	16		
	7.45				300		
17	8.15	3	6	8	17		
	8.45				300		
19	9.15	4	6	9	19		
	9.45				300		
25	10.15	7	7	11	25		
	10.45				300		
60	11.15	12	22	16	50	250	
	11.40			50	250		
65	12.15	18	23	9	50	230	
	12.38			30	230		
60	13.00	15	21	14	50	250	
	13.25			50	250		

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔日
1.15	No.1 P-01-		密度・含水・粒度・液塑	11/18
1.45				
2.15	No.1 P-02-		密度・含水・粒度・液塑	
2.45				
4.15	No.1 P-04-		密度・含水・粒度・液塑	
4.45				11/22
7.15	No.1 P-07-		密度・含水・粒度・液塑	
7.45				
10.15	No.1 P-10-		密度・含水・粒度・液塑	
10.45				
				11/23